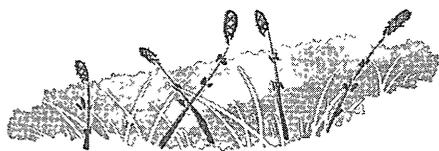


雪嶺集

〈宮坂静生 鑑〉



春

小林貴子

とよもせる海の金色こんじき実朝忌
業持ごうつは人間のみぞ薬喰
手袋を握り訃報に堪へてをり
照射され松本城の冴え冴えと
探梅や道案内の青ビーム
春炬燵なま返事にてはぐらかす
豎琴の奏者は女神春茜
春水や小鳥のための曲を弾く
春光や山が恋して山を生む
春節や関帝廟にひざまづき